

プラズマ・複相間輸送ユニット 質疑応答

『全体概要』（増崎貴）

Q：直線型プラズマ装置では他のユニットと連携した研究も行っているのか？

A：ER-Iではユニット間連携研究も行っている。

Q：直線型プラズマ装置に関する大学間連携により、どのような新しい成果、メリットがあるか？

A：連携している各直線型プラズマ装置ではイオン温度領域が異なる。異なるイオン温度領域の装置において共通のイオン温度分析器を用いて、分子活性化再結合のイオン温度依存性に関する実験を行うことができる

Q：この連携研究の世界的な位置付けはどうなるか？

A：世界的にみてユニークな研究と言える。

『フュージョンエネルギー・ナノプラットフォームによるPWIおよび炉工学研究の進展』（時谷政行）

C：個々の研究課題に関して研究のゴールをわかりやすく定めた方が良い。

C：蓄積／分類されたデータを専門家の知見が無くてもプロファイリングに利用できる方法を考えて良い。

3. PWI,弱電離プラズマ・光・物質相互作用（中村）

Q：宇宙でのアミノ酸の合成のMDは、おそらく、ほかではあまりされていないのでは？

A：ちょうど、この報告前日(2025年5月27日)に、幕張メッセで日本地球惑星科学連合講演会で、口頭発表させていただき、質問もたくさんいただき、発表後も「おもしろい。がんばってね」と応援いただいております。

C：シミュレーション、加速器の実験ともぜひ頑張ってください。